
	<p>～ 採れたて野菜を求めて“旬”なイベント～ 区内の畑を巡る野菜ウォークラリー開催！</p>
と き	6月25日(土) 午前10時～正午
と ころ	西大泉の2か所の畑
<p>25日、練馬区西大泉の畑で、区内の農業者と交流しながら農作物を収穫する「野菜ウォークラリー」が開催され、親子連れなど44組120人が参加した。</p> <p>同イベントは、<u>農地面積が約219ヘクタールと、23区で最も広い練馬区が</u>、農業者とのふれあいを通して都市農業への理解を深めてもらおうと、J A東京あおばと区内農業者の協力により平成2年から開始。身近な畑で新鮮な野菜収穫を体験できると評判で、毎回応募が殺到する大人気イベントである。</p> <p>区の担当者は、「新鮮な練馬産野菜のおいしさを家庭の食卓で味わってもらうのはもちろんのこと、生産者との交流や、収穫体験を通じて、都市農地の大切さを知ってもらいたい」と話す。</p> <p>この日、参加者は、地元を散策しながら、農業者の内堀雅巳(うちぼりまさみ)さんと、田中聖晃(たなかまさあき)さんの畑を訪れ、とうもろこしやじゃがいも、枝豆など、5品目の旬の野菜の観察や収穫を楽しんだ。</p> <p>親子で参加した男性(春日町在住、右写真)は、一家で北海道から転入してきたばかり。「東京は自然が少ないイメージだったが、練馬区は畑や緑が多く、自然が日常生活に溶け込んでいるのに驚いた。子どもにとっても、土に触れる機会は貴重だと思う。持ち帰った新鮮な野菜を食べるのが楽しみです。」と話していた。</p> <div data-bbox="1034 904 1481 1240" style="text-align: right;"></div> <p data-bbox="1082 1249 1455 1281" style="text-align: right;">大きなじゃがいもを掘り当て大興奮！</p>	

【とうもろこし、じゃがいもの収穫に 子どももお父さんも大興奮！】

最初に内堀雅巳さんの畑を訪れ、生産者の方から収穫の仕方を教わった後、とうもろこし・じゃがいも・小松菜を収穫。畑の中で実った野菜を間近で見るのは初めてという参加者も多く、自分の身長よりも高い位置にあるとうもろこしに、驚きの声をあげる子どももいた。

5歳の女の子は、「とうもろこしはなかなか採れなくて大変だったけど、とうもろこし畑がジャングルみたいで楽しかった。」と笑顔で話していた。また、じゃがいも掘りをした子どもは、軍手で土を掘り起こし、宝探しのようにじゃがいもを見つけると、歓声をあげて笑顔を見せていた。



とうもろこしをもぎ取る5歳の女の子

【枝豆と青首大根を収穫】

次に訪れた田中聖晃さんの畑では、枝豆と青首大根を収穫。

農業者の田中聖晃さんが育てた枝豆は、「ねりママ」というブランド名でJ A東京あおばこぐれ村(大泉学園町 2-12-17)でも販売される自慢の一品。「とれたての枝豆は本当に美味しいです。旬の味を楽しんでほしい」と田中さんは説明してくれた。

【問合せ】練馬区 都市農業課 農業振興係 ☎03-5984-1403